クリヤマ

安全性確保し競技をサポート

スポーツ専用床材「タラフレックス」

クリヤマ（大阪市中央区　能勢広宣代表取締役社長）が販売しているスポーツ施設専用床材「タラフレックス」の需要が高まっている。床板の剥離による負傷事故防止や、東京オリンピック・パラリンピックを控えた環境整備などを背景に受注量は大きく伸びており、安全性が高くスポーツに適した床材として活躍する。また、優れたクッション性と保温性などから、災害時の防災拠点としての有用性も兼ね備えており、注目を集めている。

タラフレックスはフランスのGerflor（ジェルフロア）社製で、国内では1978年からクリヤマが総代理店として販売している。国立代々木第一体育館をはじめ、全国で4000カ所以上の採用実績がある。直近では、宮城大学太白キャンパス体育館の改修に採用されるなど、東北でも普及が進んでいる。

従来の体育館の床仕上げは木製が主流だったが、床板の剥離による負傷事故の多発が課題となっていた。タラフレックスは塩化ビニール性のシート形状で安全性が高く、表層の特殊ウレタンコーティング、荷重に強いグラスファイバー層、高密度・低密度のダブルスポンジ層の3層構造により、グリップ力や反発力、衝撃吸収力に優れる。多くの国際競技団体から公認されたフロアで、東京オリンピック・パラリンピックではバレーボールなどの競技で採用が決まっている。

施工に当たっては既存床を壊さずに敷設でき、フローリング体育館（1000平方㍍）の改修では、既存フローリングの撤去・新設・研磨ウレタン塗装を施した場合と比べて、コストが最大35㌫削減、工期が最大20日短縮できるという。

高い耐久性や維持管理のしやすさも特長となっているほか、表層コーティングは抗菌・抗ウイルス効果も確認されている。

問い合わせは、クリヤマ仙台営業所（☎022―263―6951）まで。